

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 25 年 8 月 16 日〔金〕19:30～20:30
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 2 階 あまみエフエム会議室 にて
- 3 出席委員 委員総数 7 名 出席委員数 5 名 欠席委員数 2 名

出席委員の氏名

深田 剛／中村 修／濱田 洋一郎／岩崎 勇登／重田 朱美

欠席委員の氏名

山田 梨香／柳 ちおり

放送事業者側出席者名

丸田 泰史／沖元 眞実／上野 紋／渡 武志／渡 陽子／柿岡 朱香／川原 知恵／宮田 愛

4 議題

審議(「みちのしま ザ ワールド」について)

5 議事の概要

- (1) 欠席者のお知らせ
- (2) 審議(『みちのしま ザ ワールド』について)
- (3) 次回の審議議題について

6 審議内容

- (1) 山田委員、柳委員の欠席の報告がされた。
- (2) 番組内容の審議(「みちのしま ザ ワールド」)

深田委員長

みなさんこんにちは。それでは第 39 回あまみエフエム放送番組審議会、審議内容を読み上げます。
今日の審議対象となる番組は『みちのしま・ザワールド』について。放送日時は本放送毎月第 2 日曜日 13:00～14:00 の 60 分。再放送は翌月曜の 23:00 からと、火曜 21:00、水曜 16:00 からで、再放送は計 3 回行われています。

内容は 2013 年 2 月にスタートした、月に 1 度の 1 時間番組。奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島のシマツチュが、島の暮らしについて制作した 10 分番組を放送。昨年度の鹿児島県 NPO ネットワーク支援事業で、各島で地域情報発信の現状や課題などについて聞き取り、番組制作への協力を募ってスタートしています。

補足として、意見をいただきたい項目として以下のような項目が挙がっています。

- ・それぞれの話題、出てくる人たちについての印象
- ・話している人たちの雰囲気、出てくる話題には興味をもてるか
- ・各島の録音環境により音声が悪くないことについて、BGM について
- ・今後、群島の皆さんに取り上げてほしいテーマ、出てみたい人

皆さんの前向きなご意見をいただければと思います。中村委員よりお願いできますでしょうか。

中村副委員長

日曜日の放送で、5つの各島々からの放送がありました。まず与論島のほうから、Y-1グランプリ(余興の面白さを競うイベント 奄美群島余興グランプリ)にも出た、珊瑚レンジャーが出ていて、自分は Y-1 でも珊瑚レンジャーを見たのだけど、ラジオで聞いたら珊瑚レンジャーでもなんでもなくて、ラジオでは全然伝わらないなど、知らない人は、ただの青年団がやっている番組とだけ感じるのではないかなと、難しいなと思いました。あと、島と方言が違って、発音はすごく楽しそうなのに、中身がわからなくて残念だなと。楽しそうなので、知りたいなと思いました。でもそれはそれで、各島々の方言が違うということがわかって面白かったです。

徳之島は出演されている方が全て良くて、丸野さんという方は観光協会の方でしょうか。話がうまくて、興味を持ちながら聞きました。沖永良部は話がすごく面白いのだけでも、島唄の BGM が大きくて聞きづらくて。思い出したのだけど、正直に言うと、(渡しているサンプル CD ではなく)ラジオで(この回の放送を)聞いていたとき、ラジオを消して曲に切り替えました。聞きづらだけでなく、不快に感じるくらいで、聞き続けられませんでした。喜界島は子供たちの元気な声はいいのですが、いつまでも同じような質問を時間いっぱい延々と続けていたのは企画的にどうかと。正直、最後の方はつまらなく感じました。そして(中村委員在住の)大和村の分は、大変興味深く聞きました。リカばあという、大和村でも有名な方を出してもらっていて。あと、(インタビューを)上野さんがやっているから安心して聞けたのかなあと。その代わり、せっかく他の島はそれぞれでやっているのに、奄美大島も、誰か他の方にやってもらって、上野さんは統括的なところでコメントをしたりしてもよかったのかなと。通してみても、各島々のよさとか奄美群島の多様性というか、こんな感じでシマジマの個性とかおもしろさを紹介してもらえたらと期待して聞きました。以上です。

深田委員長

いま、中村委員からこれからも末永く続いてほしいとありましたが、今回鹿児島県のNPO ネットワーク支援事業とありましたが、これは期間限定でしょうか。

一放送局 上野

支援事業をとっていたのは昨年度ですので、3 月いっぱい分で終了しています。なので、今は継続して自社費用で制作しています。

岩崎委員

(サンプル CD を)聞いたのですが、途中からあきてくるというかですね。話を聞いていると、「お母さん」の話をしていましたが、おのおのが何のテーマもなく何気なく話していると、頭の中に入っていく感じがしないんですね。いろんなものがごっちゃになって。なので、もう少し趣旨というか、ターゲットをしぼった話題の持ち方でやったら、各島々で比較ができるのではないのでしょうか。それぞれいろんな話をするので、各島で話題も変わりますし、幼稚園の先生の話などもありましたが、ばらばらで比較のしようがないのです。多様性といいますが、同じ奄美でもいろいろ違うということも、比較できたほうが面白味もだせるのになと。全然頭にはいらなくて、かえって難しくなると思います。ターゲットとか趣旨とかをしぼればいいのかと思うのですが・・・でも(内容を)しぼってしまうのですかね？

一放送局 上野

しぼる方がいいのか、そもそもテーマはあるのか、と模索をしながらではあります。何も無い状態をお願い

すると、何を話せばいいか向こうも困ってしまうのではないかとこの程度で、一応テーマを設けてはいます。まだ広いかもしれませんね。

岩崎委員

取り上げてほしいテーマですが、わきゃ島自慢でしたっけ？（「ナキャワキャ島自慢」一群島内の島を意味する、「島」ではなく、奄美大島内の集落を意味する「シマ」を紹介しているあまみエフエムの1コーナー）そんな感じで各島々の島のいいところとか、話してもらえばいいのではないのでしょうか。それを聞いて、例えば喜界島はそんないいものがあるのかと、それぞれの島に行ってみたくか思えたらいいのかなと。もしくは、（番組の趣旨に）「各島々の現状と課題についての聞き取り」とありますので、各島々の現状や課題について聞いてみるとか、島の抱えている問題とか、興味を持って聞けるのではないのでしょうか。「お母さん」というテーマでやってもあまり興味がわからないのではないのでしょうか。今回のテーマに関しては。もう一つ意見があったのですが忘れまして。思い出したら言います。以上です。

深田委員長

岩崎委員からも「比較」という言葉がでたと思うのですが、今回は「お母さん」というテーマでしたが、過去に何回放送しているのでしょうか。過去の回などで、テーマをぐっとしぼって比較したような会というのはありますか？今回と大体同じような流れでしょうか？

一放送局 上野 先週放送分で7回目になります。毎回、テーマは大体同じなのですが、設定に関してはいつもぼんやり、広く広くしすぎていたかなと思います。

濱田委員 ちなみに7月と8月はどんなテーマでしたか？

一放送局 上野 7月は「海」、8月は夏休み時期、夏祭り時期ですので、「夏休みの間に行われていること」であったり、他の島に行ってボランティアの清掃活動することを企画した生徒会長、あとは夏祭りなどの話を聞いています。これも結構漠然としていますが。

岩崎委員

思い出しました。先ほど中村委員が大和村の話をされていましたが、そのようなケースでは興味を持ってきくんですよ、つまり同じように与論島のひとは与論島の話題に興味を持って楽しんで聞けると思うのです。そんな風にそれぞれの出身者の方が、電波放送が聞ける場所は、その自分の地域に関する部分だけは喜ぶと思います。この番組リスナーとしてのターゲットとしては出身者の方が懐かしいねと楽しんでもらいたいのか、もしくは比較をして全体的な番組を楽しんでもらいたいのか、出身者の方だけ楽しんでもらいたいのであればこういう構成、話題でもいいのですが、いろんな比較をするのであれば、比較をしやすいテーマを選ばないと出身者以外の方は飽きてしまうのではないかと思います。以上です。

重田委員

番組自体ができて回数も少ない、きっとこれから煮詰めていく番組なのかなという感じです。ディの方でこれから意見を出して煮詰めて作っていくんだろうと思いますので、私は意見というよりは、聞いた感想を、と思っています。

今回のテーマが「シマヌアンマ(方言訳:島のお母さん)」ということで、それぞれの島が、保育所の先生だったり近所のお店をやっている方のお話だったり、ばらばらだったので、「こんな感じか」ということでしか自分は聞けなかったのですが。その中でも、面白いなと思ったのは、各島々のイントネーションの違いとか、この土地の音とか声を通じて空気感があって、その土地に行かなくても、その土地の空気感とか雰囲気を感じられる、ということでした。

沖永良部のものは私も音が大きくて少し聞き辛かったですね。音に合わせてボリュームを上げると音楽がばんばんになって何を言っているかわからなくなるので。ただ、沖永良部の放送の面白いのが、対象をお店の女性の方に絞ってインタビューをされた、ゆうき兄、こうきさん、ますみ姉ですか？聞いていてだんだん笑いが出てきました。お母さんといえば、母＝料理というイメージということで、お店をやっている人を選んだんだろうと思うのですが、だんだんその方のお店の話になって、そして個人的な話になってきて、インタビューされている方も困ったのかだんだん相槌もなくなっていくという・・・(笑)でも最後に、困りながらも、「お母さんがつくった素材を使った料理を作って出している、まさに母の味、心ですね。」とうまくまとめていましたね。きっとこの方達も展開に困ったのかなと。こういう、マニアックなところも面白いのかな、と思いました。ここに母の味があるとインタビューの人たちがつなげたのが、番組の展開的に聞いていて笑えるというか、ありました。

面白いとおもったのが、大和村の放送で、大榎集落のひとつの団体、「結^{むすび}びの会」に絞ってまとめられていて、会の支え役、「リカおば」という人をターゲットにしていたのですが、どこの集落にも、その人の話が出ればその人の真似をしだす、というか、(重田委員が在住の)住用でもいるのですが、その人の名前を出すと若い連中でも、壮年団でも婦人会でも、笑いの”ネタ”になるというか、(地元に着用して)マニアックですよ、完全に。地元でターゲットをしぼっていたのが、ひとつの番組的にすごくおもしろいなと。大和の、大榎にもそういう人がいるのかと、私はきいていて面白かったです。

先ほど岩崎さんもおっしゃったように、確かにそれぞれがターゲットとする方の設定が全くちがうと思うので、ディの方でも各月テーマを絞ってやってはいるのですが、聞いたのは5月の番組だけですが、漠然としているというか、なんていうか比較も出来ないし、聞いていて、その島の、どこの部分が出ているのかと思うところがありました。

あと、今後奄美大島に関して、奄美大島は大和村がでていましたが、絞るのって大変なのかなと思いますし。ターゲットにするところを、大和村みたいに集落の、”濃い”というか、普通の生活に密着している部分を詰めてそこをターゲットにするのか、その地域全体でがんばっている団体のことにするのか、そのくり自体で全然出来かたなども違ってくると思いますので、どういう風に今後していきたいか、つくり方を考えていかなければいけないなと思いました。

深田委員長

重田委員のおっしゃったことの中で、あっと思ったのが、「空気感」という言葉が使われていましたが、各島それぞれで、「空気感」というのがとても出ていたと思います、ディの方で、その場その場のフラットというか、ラフな感じで地を出すために、工夫されているところとかありますか？

一放送局 上野

番組だからといって宣伝などでなくてもいい、その人達が普段どんなふうにお互いやりとりをしているかを出してもらえるように、ということで今模索をしながらであるのですが、人選び、議題選びの話をしているのですが、難しいなと思っています。

岩崎委員

今気づいたのですが、何か足りないと思っていたのですが、物語、話しの「起承転結」がないですね。あ、“起”はありますね、お母さんということ。どう展開して、最後はどう結ぶか。先ほど重田委員がおっしゃったように、沖永良部の人がかまくら結びつけたということでしたが、そういう展開がしっかりしていれば、まだ頭に入ると思うのですが、話がばらばらになってしまって、最後の落としどころがどうなのかわからなくて、もやもやが残ってしまうというか。

重田委員

途中聞き流してしまいました、沖永良部の放送は、何を言っているか、もごもごとなっていて、音声のこともありますが、あまりにも個人的な話になってしまったりもしていたので、聞き逃してしまったといいますか……。

深田委員長

各委員から沖永良部のBGMのことが出ていますが、僕も言おうかとひかえていたことではあったのですが。音に関しては、ディさんの方でかぶせたのですが、向こうから乗かってきたのですか？

一放送局 上野

いえ、こちらでかぶせました。私も5月沖永良部編の放送に関しては、作りながらもチェックはするのですが、大きかったなと反省していたところでした。

濱田委員

皆さんそれぞれおっしゃっていて、かぶるといけないなど思っているのですが、番組のコンセプト自体が、上野さんも言っていました、「自分達の手で、自分達の声で」作るということで、5つの島のものを集めてやるということで。尺的に60分はどうかと思いました。ちょこちょこ(意見が)でてるけど、途中であきちゃったりとか。まあ、それぞれ聞いていると、ラフな感じで、間に上野さんが10分終わったところでうまい具合にまとめるということで、何とか1時間もたせている感じがして。

こないだの5月の放送は、母の日だったから、「シマヌアンマ」っていうテーマになって。実際、オンエアでは聞いていないのだけど、大体テーマを決めたりすると、どうしても番組自体がインタビューになってしまふんだよね。例えばテーマによっては「インタビューではない形式で作ってください」とオファーをすとか。具体的にどんな感じとはいえないのだけでも。そういうのがひとつの工夫としてあるかなと。

それぞれ素人がやっているわけだから、ラフな感じで上がってきたものを、聞きやすくして間にコメントをいれてという、作り方としては変わらないというか。一般の方に、どのように届いているかということでは、ちょっと視点を変えたほうがいいのかも思ったり。無理に1時間でなくとも30分で第二(日曜日)、第四(日曜日)とかにするとか。でもそうすると、テーマをもう一度作りまいに(方言訳:作らなければいけなく)なるのか。そういう感じですね。

子供はかわいいのだけど、やっぱりずっとあれだと辛いところがあるよね。「母ちゃん誰に似てる？」と聞いたら「はんじじーに似てる！」と言われても。(一同大爆笑)「どんなジージヤ？」っち思ったけどや。あれは「プッ」ってむじらいや(方言訳:おもしろい)、と。つつい笑う、っていうのもあるのですが。

とりあえず10分ものに入る上野さんのまとめ方はいいのかな。中村委員もいったけど。丸野さん、声いいよね。BGMについてはさっきも出てたけど、やっぱりボーカルものは避けたほうがいいのかもね。沖永良部は最

後にちょっとかぶるぐらいで。ちょっとしたヒット曲のカバーじゃがね、女性ボーカルが好きなのでつい歌を聴いてしまう。(笑)

徳之島のところは BGM がほとんど入っていなかったんだけど、あれはあれで無いと寂しいや、のっぺりした感じになるのかなと。難しいと思いました。

とにかく全体通して、全てがインタビュー形式になってしまっているということで。ディの番組にはインタビューのコーナーなどはいくらでもあるわけじゃないですか。夕方の番組でもなんでも。まあそれがラジオ番組の基本かもしれませんが、各島々でも、あまりにも「この人しかわからない地名」だとか、そうすると、ああわからないな、と集中力が切れるというか、こまかいことを言うとキリがないのですが。そんな感じで思いました。

深田委員長

濱田委員からもありましたが、みんながわからないといていた部分でも、お題の出し方や、テーマの決め方によってそこが改善される場合もあるかもしれませんね。

ではここで、本日欠席の柳委員からファックスで意見をいただいていますので読み上げます。

用紙 3 枚の大作です。

あまみエフエム番組審議会「みちのしま ザ ワールド」について

1. それぞれの話題、出てくる人たちについての印象

島々の発音や言葉は雰囲気が出ていて、いいと思いました。話題についてもいいと思います。今回、島のお母さんは元気な方。島のお母さんたちの明るさがとても伝わりました。

2. 各島の録音環境について

思っていたより良いというか、普通に聞けました。問題なしなのでは？と思いましたが、水曜日の再放送をラジオで聴いたところ、聞辛いところが多くて、半分は聞きとれなかったと感じています。前もっていただいている CD を聞くときには、静かな環境の中、お酒を飲みながら集中して聞くので、なんら問題なく感じましたが、私のように常にうるさい中(ダンプや重機の音)で、毎日聞いている人にとっては聞きづらいという感じを、改めて感じました。

3. BGM について

あった方が雰囲気がでていいと思います。

4. 気づいた点、改善案

今回「みちのしま ザ ワールド」を聞いたのは、仕事の時間的にラジオを聴く態勢になっていなかったもので、はじめてでした。思っていたより面白い番組だったので、今まで聞いていなかったのをちょっと残念に思いました。いろいろな企画をしているのだなあだと改めて感心しました。内容的には、私の場合、音の聞きづらさや周りの雑音など、マイナスなところが重なり、1 時間たつ前に飽きてしまったのが本音です。これは CD を聞いたときではなく、ラジオを仕事中に直で聞いたときの感想です。音楽番組の 1 時間は短いと思うのですが、せっかくの手の込んだ番組なのにもったいないと少し思いました。

最後、私の方から。(深田委員長 意見)

まず手の込んだ番組で、すごく時間とか、メールのやりとりなど、手間など、あちこちとやりとりしながら作っていくということに関しては、制作の苦労があったのでは無いかと、1 時間、全体的に聴いて思いました。その辺で、NPO の助成事業ということだったので、今後のことが気になったので先ほど聞きました。そしてさきほども言いましたが沖永良部の BGM のことですね。ちょっと大きいなと思いました。

あと、こういう話しになれば言うのですが、今後スポンサーが見つかるということで、「みちのしま ザ ワールド」なので、道の島交通さん、いかがですか？

岩崎委員 道の島農園さんがいいのでは？(一同笑)

深田委員長 更なる改善をして、ぜひ名乗りをあげていただけるといいですね。

濱田委員 オムニバス番組ですから、「主^{おも}にバス」ということで・・・(一同大爆笑)

深田委員長

まあですね、各島々の特徴がでていて、よかったなど。与論の方言とかはわからなかったですが。こんなに言葉がちがうのかと思いました。思ったことは、型がなくても、ある意味それがいい、という捉え方もあったので、型がなくてもよかったのかと。

あと共通の課題、お題ということで、提案ですが、お化け、ケンムンとか、島の妖怪の話とか、どこでも必ずあるので、それをお題にすると夏場ですし、みんな聞くのでは。島ではケンムンだけど向こうでは・・・いやこういうお化けが、幽霊がいる、とか。共通の話題ということでは、お化けとかケンムンとかはいいのでは。あとやっぱりグルメと釣りは食いつきがいいものですから、例えば、大和村で変わった魚釣りとかないですか？これをつれるの？みたいな。

中村委員

魚釣りではないけど、珊瑚礁ほじくってそこに置いて魚入っているとかあるよ。耕しにいくわけ、珊瑚を。

岩崎委員 ……自然破壊ですね。(一同爆笑)

中村委員 そうそう！今ではね(笑)

深田委員長

意外と各島々でこんなんでも釣るよ、とか、そういうネタも、引っ張れるネタとして、あったら面白いかな。聞き飽きないでまた面白いし。

今回、お母さんが話題でしたが、「昔お母さんにされたお仕置き」、をテーマにだったら、みんな共通で、奄美では昔「やしゅ(方言訳:お灸)」されたとか、与論だったら何があるとか、もしかしたらそういうのもあるので、ぎゅっとしぼって、みんなが聞きやすくして共通のお題、それに各島のイントネーションが加わればもっと面白いのかなと、そういう感想を持ちました。

最後になりますが、「みちのしま ザ ワールド」という名前ですが、きんきんと、楠田恵理子がやりますよね、あれはなかったのですか？

一放送局 上野 番組スタートの前の、番組宣伝で一回だけやりましたが以後自粛しています。

深田委員長

今日早くきてユーチューブを見ていて、そのフリがほしいなと思いました(笑)。

まあそういうことです。僕としてはキーワードを絞ればもっと聞けるかな、というのが感想です。

はい、ありがとうございます。ひととおり委員の方からありましたが、その他委員の方でディさんに質問とか、ありますか？逆にあまみエフエムさんから質問等があれば。

岩崎委員

制作費は結構かかるのですか。

一放送局 上野

いえ、基本的には音声ファイルはデータで、やりとりも電話、もしくは回線です。あとは自分が制作の、編集をする時の手間ぐらいですかね。

深田委員長

締め切りがあって、そこまでみなさん届きますか？

一放送局 上野

最初は放送前日の夜に届いたりしたのですが、今は締め切りの前に送ってきます。

やり始めると与論は、「完パケ」といって音質はあまりよくなかったりするのですが、自分達で編集もして、BGM までつけた状態で送ってくれるようになったり、毎回ぎりぎりになってしまうから、「面白い人をストックしておくようにします」とか言ってくれたり、改善というかご本人達の意欲を感じたりするのが、ありがたかったりして、あとはそのサバクリをしているみなさんと連携する一方で、一般のリスナーの皆さんに届けていることを考えるとすごく悩んでいて。

深田委員長

本来でしたら奄美市内というエリアを限られたエフエムが、群島を飛び越えているんな活動的にやっている人たちとコミュニケーションを取れるようになったきっかけの番組でもあるので、そういった意味ではこれをもっとブラッシュアップしてやっていけたらいいかな、と思います。

重田委員 他の離島の方でもきけるのですか？

一放送局 サイマルラジオで、インターネットで聞こえます。

中村副委員長

以前、龍郷町のエフエムが立ち上がるということで新聞に載っていましたが、どうなっていますか？

一放送局 丸田

今、立ち上げるために動いているとは聞いているのですが、実際の細かいお話はまだ聞いていません。

深田委員長 社屋も立っていますよね？2階建ての立派な・・・。

中村副委員長 大和村みたいにすればいいのにね。

一放送局 丸田

国からの免許付与ですから、スタートすると放送を止めることができないので、ランニングさせていくこととか、小さな局であったら、ネットワークを組んで放送を供給されたりすることも必要です。瀬戸内や宇検の方式がよいのか、先ほど申し上げたように隣接した町村も認められるようになりましたので、大和村のような方式がよいのか。そういったところが現状です。

岩崎委員

ちょっといいですか。奄美大島に住んでいる喜界島出身者、徳之島出身者、それぞれの離島の出身者が一同に集まって、奄美大島に来て難儀した話とかびっくりした話とか、とかそういう話をしても。

深田委員長

一番話が出やすいのは苦労話ですよ。自分がどうやって島からでてきて・・・、そこにドラマがありますよね。僕も聞きたいです。いろいろな社長さんなどとお会いすると、創業話とか聞くのが好きです。何がきっかけで、などなど。参考にもなりますし。

重田委員

思ったのですが、少し硬いかなとは思いますが、「ザ・ワールド」なので、文化財とか農業とか、いろんな産業に行くのはどうでしょうか。(番組の趣旨として)広くくりであれば、そういった形に行くのも、いいかなと思います。私は個人的にも興味があるので。他の離島の文化財なんて知らないし。実際、青年団活動の交流会で、離島に行ってみて、徳之島の全島一が年4回にあるのも知りましたし、喜界島に行ったときにゴマ製作所を見たり、地下ダムも歩いていったときに、螺旋階段を下りていったら中にトンネルがあって、喜界島って島全体が完全に珊瑚の隆起した島で、水を島全体で管理しているんですよね。島の中に水路があって、地図を見せてもらったのですが、島全体に水路が張り巡らされていて。役場の方でしょうかね。夜も交代で管理をされていて。さとうきび畑にみずを放水する時間帯があって、そんなことも管理しています。

土地を無駄にしないんですよね、徳之島には荒地があったり山もあるんですが、喜界は荒地がない。土地を無駄にしないという感じがしました。

二日酔いでバスにのって回ったからくらくらしながら見たのですが(笑)。喜界島は本当に日陰がなかったから真照りの中で！バスを出るのもだるかったのですが、土地にいくと気づく、違いを見れたのが、おもしろいなと思いました。その土地のそういったものもテーマとして「みちのしま ザ・ワールド」でしてみたら面白いのかなと思いました。

ラジオだったら、声だけだから、そういうのも難しいのかなと思ったりもしながら。具体的な案はないですが。

濱田委員

リポートとする感じで、一緒にガイドというか案内してくれる人とやり取りしながら、「おっと水路が出てきました！」とかいってからに。面白く言うと、案外状況が浮かんできたりとか。

深田委員長

文化財とかで、きゅっと縛って各島々のお国自慢をする。やっぱり、自慢もすらすら出てくるものですから。それを文化財や、建物に絞るとかすると、すらすら出てきて一生懸命アピールする、それもいいのでは。それを聞いた各島々の人が言ってみたくなったりして、それこそまた「各島々の交流」ということで、狙いどころにもなってくるのではないのでしょうか。

それでは次回の審議会お題について、丸田さんにお返しします。

(3) 次回の審議議題について

一 放送局 丸田

はい。次回の審議内容として担当の渡陽子のほうからお話させてください。

一放送局 渡 陽子

「島口 NEWS シマゆむ TIME」という、「シマユムタ伝える会」というボランティアの方々に参加していただいて作っている番組について、サンプル CD を作りましたので、宜しくお願い致します。

ネイティブの方々で島口をしゃべれる方々がどんどん少なくなってきたいて、ネイティブのシマグチをいかに残していくかということを考えたときに、南海日日新聞さんと、奄美新聞さんの一週間の記事のなかから選んで、まずはその記事を、3人で順番に、それぞれの島のシマグチで読んでいきます。そしてそれぞれの記事について“ムンバナシ(ここでは、「お互いが話し合う」というような意)”という形で紹介する番組になっています。15分の番組で、参加されている方々が、笠利、龍郷、名瀬、住用、瀬戸内、与路島、宇検、喜界、徳之島、沖永良部の方々に出ている番組です。ご出身のシマが全部違うので、喜界の方と瀬戸内の方と笠利の方が一緒に、それぞれの言葉でしゃべっている状態なので、ある意味カオス状態なんですけれども、そうなっているのがそもそも果たしてよかったのか？ということ、あと、シマグチの解説があった方がいいのか、無かったほうがいいのか。去年の番組改編前まで、日曜日の夕方の生放送内の1コーナーでしたが、これが独立して1個の番組になっています。生放送の中にあるときには、「今日は誰おじと誰おじと誰おじでした、〇〇について話しましたね、〇〇という島では〇〇っていうんですね〜」、と解説ができたのが、今は全く解説なしということで、それでもいいのか、そういったことについてもご意見をいただければと思います。宜しくお願いいたします。

濱田委員

「シマグチにゆうす、しまゆむタイムら〜」というジングル。好きじゃや〜。斬新ど。

一放送局 渡陽子

大和村で、ご出演いただける方がどなたかいらっしゃれば、ご紹介いただきたいのですが。

中村委員

適任者はたくさんいるので。ぜひとも。こちらかもお願いしたいぐらいです。

放送局 丸田

与論島の方もどなたかいらっしゃったらご紹介ください。

島々でだんだん言葉が変わっていくのがおもしろいのですよ。島々で言葉が全然違いますので。

でもみなさん、意思疎通はできています。(一同、笑)

次回の番組審議会が10月24日木曜日、19:30 からに決定し、閉会する。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回審議会までに改善に努める

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

① 自社放送:平成 25 年 9 月 7 日(土曜日)6:00〜放送

② 書面の備置き:平成 25 年 9 月 7 日(土曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応

③ インターネット:平成 25 年 9 月 7 日(土曜日)より当法人インターネットのホームページに転載

9 その他の参考事項 なし